

2014年 理工学部 第1問

1枚目/2枚

数理
石井K1 次の に適する数または式を記入せよ。

(1) 数列 $\{a_n\}$ が $a_1 = 1$, $a_{n+1} = 4a_n + 1$ で与えられているとき, $a_2 =$ ア であり, その一般項は $a_n =$ イ となる. また, $a_{n+2} - a_n$ を 5 で割った余りは ウ である. ここで, a_n を 5 で割った余りを b_n とする. このとき, $b_4 =$ エ , $b_5 =$ オ であり, $\sum_{k=1}^{2n} a_k b_k =$ カ である.

(2) 座標平面において 1 次変換 f による点 $A(2, 0)$ の像は点 $C(4, 0)$ であり, 点 $B(0, 4)$ の像も点 $C(4, 0)$ であるとする. このとき, f による点 $D(3, 2)$ の像は点 (キ , ク) である. 次に, 放物線上を動く点 $P(t, -\frac{1}{2}t^2 + 1)$ ($0 \leq t \leq 4$) の f による像を点 Q とする. 点 Q の x 座標の最大値は ケ であり, そのときの点 P の x 座標は コ である.

$$(1) \underline{a_2 = 4a_1 + 1 = 5} //$$

$$a_{n+1} + \frac{1}{3} = 4(a_n + \frac{1}{3}) \quad \therefore \{a_n + \frac{1}{3}\} \text{ は 初項 } a_1 + \frac{1}{3} = \frac{4}{3}, \text{ 公比 } 4 \text{ の等比数列}$$

$$\therefore a_n + \frac{1}{3} = \frac{4}{3} \cdot 4^{n-1} \quad \therefore \underline{a_n = \frac{1}{3}(4^n - 1)} //$$

$$a_{n+2} - a_n = \frac{1}{3}(4^{n+2} - 1 - 4^n + 1)$$

$$= \frac{1}{3} \cdot 4^n (16 - 1)$$

$$= 5 \cdot 4^n \quad \therefore a_{n+2} - a_n \text{ を } 5 \text{ で割った余りは } \underline{0} //$$

a_1, a_2 を 5 で割った余りは, それぞれ 1, 0 より.

$$b_n = \begin{cases} 1 & (n: \text{奇数}) \\ 0 & (n: \text{偶数}) \end{cases} \quad \therefore \underline{b_4 = 0, b_5 = 1} //$$

$$\therefore \sum_{k=1}^{2n} a_k b_k = a_1 + a_3 + a_5 + \dots + a_{2n-1}$$

$$= \frac{1}{3}(4^1 - 1) + \frac{1}{3}(4^3 - 1) + \frac{1}{3}(4^5 - 1) + \dots + \frac{1}{3}(4^{2n-1} - 1)$$

$$= \frac{1}{3}(4 + 4^3 + 4^5 + \dots + 4^{2n-1}) - \frac{1}{3} \cdot n$$

$$= \frac{1}{3} \cdot \frac{4(1-4^{2n})}{1-4^2} - \frac{1}{3}n$$

$$= \underline{\frac{4^{2n+1} - 15n - 4}{45}} //$$

2014年 理工学部 第1問

2枚目/2枚


1 次の に適する数または式を記入せよ.

- (1) 数列 $\{a_n\}$ が $a_1 = 1$, $a_{n+1} = 4a_n + 1$ で与えられているとき, $a_2 =$ ア であり, その一般項は $a_n =$ イ となる. また, $a_{n+2} - a_n$ を 5 で割った余りは ウ である. ここで, a_n を 5 で割った余りを b_n とする. このとき, $b_4 =$ エ , $b_5 =$ オ であり, $\sum_{k=1}^{2n} a_k b_k =$ カ である.
- (2) 座標平面において 1 次変換 f による点 $A(2, 0)$ の像は点 $C(4, 0)$ であり, 点 $B(0, 4)$ の像も点 $C(4, 0)$ であるとする. このとき, f による点 $D(3, 2)$ の像は点 (キ , ク) である. 次に, 放物線上を動く点 $P(t, -\frac{1}{2}t^2 + 1)$ ($0 \leq t \leq 4$) の f による像を点 Q とする. 点 Q の x 座標の最大値は ケ であり, そのときの点 P の x 座標は コ である.

(2) f を表す行列を $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ とおくと,

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 4 \\ 0 \end{pmatrix} \quad \therefore 2a = 4, 2c = 0 \quad \therefore a = 2, c = 0$$

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ 4 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 4 \\ 0 \end{pmatrix} \quad \therefore 4b = 4, 4d = 0 \quad \therefore b = 1, d = 0$$

$$\therefore A = \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 0 & 0 \end{pmatrix} \text{ となるので, } \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 0 & 0 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 8 \\ 0 \end{pmatrix} \quad \therefore \underline{(8, 0)} //$$

$$Q = \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 0 & 0 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} t \\ -\frac{1}{2}t^2 + 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -\frac{1}{2}t^2 + 2t + 1 \\ 0 \end{pmatrix} \quad \therefore f(t) = -\frac{1}{2}t^2 + 2t + 1 \text{ とおくと}$$

$$f(t) = -\frac{1}{2}(t^2 - 4t) + 1$$

$$= -\frac{1}{2}(t-2)^2 + 3 \quad \therefore \text{点 } Q \text{ の } x \text{ 座標の最大値は } \underline{3} //$$

$$\text{このとき, } t = 2 \text{ より, } P \text{ の } x \text{ 座標は } \underline{2} //$$